



## 平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月11日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 村上 真之助  
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役 管理本部長（氏名） 安岡 信幸（TEL）0798(43)1065  
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月15日 配当支払開始予定日 平成24年10月31日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績（平成24年3月1日～平成24年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	72,120	8.2	2,570	48.6	2,747	40.7	1,284	—
24年2月期第2四半期	66,647	6.1	1,729	△15.1	1,953	△10.5	△728	—

（注）包括利益 25年2月期第2四半期 1,470百万円（267.2%） 24年2月期第2四半期400百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	45.88	—
24年2月期第2四半期	△26.01	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	70,444	38,293	48.7
24年2月期	65,222	37,223	51.0

（参考）自己資本 25年2月期第2四半期 34,278百万円 24年2月期 33,288百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	12.00	—	12.00	24.00
25年2月期	—	12.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

（%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	140,000	4.3	5,200	8.2	5,500	6.3	2,600	82.0	92.83

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料の4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 有  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無
- (注) 変更の詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期2Q	32,267,721株	24年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	4,260,567株	24年2月期	4,259,787株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期2Q	28,007,217株	24年2月期2Q	28,008,754株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であり、

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目、その他の事項の金額は、従来、千円単位 (単位未満切捨て) で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位 (単位未満切捨て) で記載することに変更いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、世界経済における景気の減速の広がり及び円相場の高止まりによる外需への影響、また国内では消費者物価の低下が続くなど先行きの懸念が強まりました。

当食肉業界におきましても、昨年の東日本大震災及び食中毒事件の影響は薄れてはきたものの、穀物飼料価格の上昇による食肉原価の押し上げ、片や低迷する個人消費への供給適応という厳しい課題を抱えつつ推移しました。

このような経営環境の下、当社グループは、引き続き環境の変化に対応した営業体制と食肉の生産から小売・外食事業までの一貫経営を推進して、経営体制の強化と安定的な成長を目指しました。食肉等の製造・卸売事業においては、牛・豚の生産事業の拡充を目指し積極的な事業開発を進めております。また、こてっちゃん発売30周年を記念して、期間限定で『こてっちゃんにんにく塩味』を発売いたしました。さらに、生食用牛肉の加工・調理基準改訂に対応して、個食用のタタキを開発いたしました。これにより、外食店や小売店等の「お客様に安全な生食用牛肉を簡便に提供したい」とのニーズに対応できる体制が整いました。また、食肉等の小売及び外食事業においては、小売部門では新規出店や既存店活性化、外食部門では昨年12月にグループ化したステーキレストランチェーン事業の確実な業務移管と競争力向上のための施策等を継続いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高721億2千万円（前年同四半期比8.2%増）、営業利益25億7千万円（前年同四半期比48.6%増）、経常利益27億4千7百万円（前年同四半期比40.7%増）、四半期純利益12億8千4百万円（前年同四半期は、投資有価証券の評価損計上等により7億2千8百万円の四半期純損失）となりました。

なお、前年同期との比較において、特殊な要因として前年第2四半期連結累計期間には東日本大震災及び食中毒事件の発生、また株式市況の変動による保有有価証券の評価損（25億1千万円）の発生がありました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## ①食肉等の製造・卸売事業

売上高は575億1千8百万円（前年同四半期比6.6%増）、セグメント利益は24億6千2百万円（前年同四半期比31.1%増）となりました。

## ②食肉等の小売事業

売上高は101億4千2百万円（前年同四半期比4.0%増）、セグメント利益は4億6千万円（前年同四半期比5.7%減）となりました。セグメント利益の減少は、競合店出店の影響等によるものであります。

## ③食肉等の外食事業

売上高は35億8千9百万円（前年同四半期比58.2%増）、セグメント利益は1億4千4百万円（前年同四半期9千7百万円のセグメント損失）となりました。売上高及びセグメント利益の増加は、主に東日本エリアの既存店の業績回復並びに焼肉レストランの新店効果及び昨年12月にグループ化したステーキレストランチェーン事業の連結取込によるものであります。

## ④その他

売上高は8億7千万円（前年同四半期比33.3%増）、セグメント利益は2千1百万円（前年同四半期比54.6%減）となりました。売上高の増加は、主に本年2月にグループ化した倉庫事業の連結取込によるもので、セグメント利益の減少は、主に東日本大震災直後にあった飲料水特需の消滅によるものであります。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて52億2千1百万円増加し、70億4千4百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴い売上債権の増加及びたな卸資産の増加等によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて41億5千1百万円増加し、32

1億5千1百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務が増加したこと及び借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて10億6千9百万円増加し、382億9千3百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて5億6百万円減少し、145億2千6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、1億2千8百万円の支出(前年同四半期は8億8千万円の収入)で、主な増加要因は税金等調整前四半期純利益27億2千4百万円、減価償却費7億9千2百万円及び仕入債務の増加27億1千2百万円であります。一方、主な減少要因は売上債権の増加38億4千8百万円、たな卸資産の増加18億3千万円及び法人税等の支払額14億1千1百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、12億8千9百万円の支出(前年同四半期は8千9百万円の支出)で、支出の主なものは定期預金の純増額6億5千6百万円及び有形固定資産の取得による支出8億2千9百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、9億円の収入(前年同四半期は5億5千7百万円の支出)で、収入の主なものは短期借入金の純増額3億8千4百万円及び長期借入れによる収入30億5千万円であります。一方、支出の主なものは長期借入金の返済による支出19億3百万円及び配当金の支払額3億3千5百万円であります。

(4) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の通期連結業績予想につきましては、本年4月13日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,554	15,696
受取手形及び売掛金	12,104	16,015
商品及び製品	5,474	6,798
仕掛品	1,933	2,244
原材料及び貯蔵品	622	827
その他	2,235	1,629
貸倒引当金	△132	△149
流動資産合計	37,792	43,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,976	18,157
減価償却累計額	△10,974	△11,254
建物及び構築物(純額)	7,001	6,903
土地	9,056	9,060
その他	12,376	12,649
減価償却累計額	△9,355	△9,441
その他(純額)	3,021	3,207
減損損失累計額	△575	△515
有形固定資産合計	18,503	18,655
無形固定資産		
のれん	238	140
その他	247	233
無形固定資産合計	485	373
投資その他の資産		
投資有価証券	4,948	4,840
その他	3,622	3,620
貸倒引当金	△130	△107
投資その他の資産合計	8,440	8,353
固定資産合計	27,430	27,382
資産合計	65,222	70,444

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,729	10,473
短期借入金	4,261	4,647
未払法人税等	1,407	1,346
賞与引当金	597	604
その他	4,544	4,588
流動負債合計	18,541	21,661
固定負債		
社債	640	460
長期借入金	5,842	7,099
退職給付引当金	795	800
役員退職慰労引当金	144	156
その他	2,036	1,974
固定負債合計	9,458	10,490
負債合計	27,999	32,151
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	11,952	11,952
利益剰余金	20,121	21,070
自己株式	△2,985	△2,986
株主資本合計	33,386	34,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	436	444
繰延ヘッジ損益	2	△0
為替換算調整勘定	△537	△499
その他の包括利益累計額合計	△97	△55
少数株主持分	3,934	4,014
純資産合計	37,223	38,293
負債純資産合計	65,222	70,444



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	66,647	72,120
売上原価	56,058	59,657
売上総利益	10,588	12,463
販売費及び一般管理費	8,858	9,892
営業利益	1,729	2,570
営業外収益		
受取利息	12	12
受取家賃	44	62
受取配当金	49	51
負ののれん償却額	28	28
その他	176	151
営業外収益合計	310	306
営業外費用		
支払利息	54	68
その他	32	60
営業外費用合計	87	129
経常利益	1,953	2,747
特別利益		
投資有価証券売却益	8	10
貸倒引当金戻入額	29	—
賞与引当金戻入額	19	—
受取補償金	—	20
その他	17	11
特別利益合計	74	42
特別損失		
固定資産処分損	5	32
減損損失	37	19
投資有価証券売却損	111	—
投資有価証券評価損	2,510	—
店舗閉鎖損失	23	13
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	118	—
その他	18	0
特別損失合計	2,825	65
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△797	2,724
法人税等	△110	1,300
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△686	1,423
少数株主利益	41	138
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△728	1,284

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△686	1,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,120	9
繰延ヘッジ損益	△16	△3
為替換算調整勘定	△16	40
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
その他の包括利益合計	1,087	46
四半期包括利益	400	1,470
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	400	1,327
少数株主に係る四半期包括利益	△0	143

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△797	2,724
減価償却費	657	792
減損損失	37	19
のれん償却額	214	101
負ののれん償却額	△28	△28
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7	6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12	5
受取利息及び受取配当金	△61	△63
投資有価証券評価損益(△は益)	2,510	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,115	△3,848
たな卸資産の増減額(△は増加)	△520	△1,830
仕入債務の増減額(△は減少)	1,238	2,712
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	118	—
その他	380	701
小計	1,639	1,293
利息及び配当金の受取額	59	59
利息の支払額	△54	△69
法人税等の支払額	△764	△1,411
営業活動によるキャッシュ・フロー	880	△128
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	375	△656
有形固定資産の取得による支出	△684	△829
無形固定資産の取得による支出	△2	△3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△58
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	7	—
貸付けによる支出	△23	△117
その他	238	375
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89	△1,289
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	175	384
長期借入れによる収入	333	3,050
長期借入金の返済による支出	△474	△1,903
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△336	△335
少数株主への配当金の支払額	△64	△64
その他	△188	△229
財務活動によるキャッシュ・フロー	△557	900
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	225	△506
現金及び現金同等物の期首残高	12,349	15,032
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,574	14,526

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5)セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食肉等の製 造・卸売事 業	食肉等の小 売事業	食肉等の外 食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,970	9,755	2,268	65,994	652	66,647	—	66,647
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,090	396	68	3,554	3	3,558	△3,558	—
計	57,060	10,151	2,336	69,548	656	70,205	△3,558	66,647
セグメント利益又は 損失(△)	1,878	488	△97	2,269	48	2,318	△588	1,729

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△588百万円には、セグメント間取引消去△100百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△487百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食肉等の製 造・卸売事 業	食肉等の小 売事業	食肉等の外 食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	57,518	10,142	3,589	71,250	870	72,120	—	72,120
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,065	14	54	3,134	24	3,158	△3,158	—
計	60,583	10,157	3,643	74,384	894	75,279	△3,158	72,120
セグメント利益	2,462	460	144	3,067	21	3,089	△519	2,570

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△519百万円には、セグメント間取引消去△46百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△472百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。